

(4) アクションプラン

令和5年度 荻生小学校アクションプラン1	
重点項目	【徳】生徒指導 ーやさしくー
重点課題	好ましい人間関係を築く子供の育成
現 状	・昨年度は、地域の方と一緒に「さわやか挨拶運動」や計画委員会主催の「あいさつボランティア」等、様々な挨拶運動や「ぼかぼか言葉」の推進に取り組み、挨拶に対する意識の高まりや家族や友達との言葉のやりとりに相手を思いやる気持ちが見られるようになった。しかし、自発的で相手に届く挨拶には課題が見られ、よくない言葉遣いが原因でトラブルに発展することもあった。好ましい人間関係を築いていくためにも、家庭や地域と連携し、相手を意識した挨拶や言葉使いを指導していく必要がある
達成目標	・気持ちのよい挨拶や望ましい言葉使いができる子供の割合80%以上を目指す。
方 策	◎生活アンケートや教育相談、情報交換等を定期的実施し、チームとして取り組む。 ・地域や家庭と連携しながら、挨拶運動や人権集会等を通し、相手を意識した挨拶や「ぼかぼか言葉」の推進に取り組んでいく。 ・場所や相手に応じた言葉遣いができるように指導する。
令和5年度 荻生小学校アクションプラン2	
重点項目	【知】学力向上 ーかしこくー
重点課題	主体的に学び合う子供の育成
現 状	・昨年度は、子供にとって必要感のある学習課題となるよう工夫することで、一人一人が自分の考えをもって学習に取り組むことができた。しかし、子供同士が関わり合いながら学ぶことのよさを十分に味わうまでには至らなかった。学習規律のさらなる浸透や関わり合いが生まれる学習内容を工夫することで、学力向上を図る必要がある。
達成目標	・「友達の話聞く」等、学習規律を守ることでできる子供の割合80%以上を目指す。
方 策	◎全校共通の「学習の約束」を活用し、学習規律をさらに子供に意識付け、友達の考えをよく聞き、学び合えるようにする。 ・学習規律を自己評価する週間を学期に1回設定し、取組を見直すことができるようにする。
令和5年度 荻生小学校アクションプラン3	
重点項目	【体】健康・安全の指導 ーたくましくー
重点課題	進んで運動する子供の育成
現 状	・昨年度は、「わんぱくタイム」や体育委員会が企画した「おにごっこ」等、運動する場を設けることで、児童は楽しく体を動かすことができた。また、休み時間には、外や体育館で元気よく遊ぶ姿が見られた。今年度は、「わんぱくタイム」や体育委員会の活動を更に工夫することで、児童が主体的に活動し、進んで運動するような取組を行いたい。
達成目標	・進んで体を動かして活動したり、運動したりすることができる子供の割合80%以上を目指す。
方 策	◎週1回の「わんぱくタイム」（大休憩時）では、縦割り活動、縄跳び等を全校で実施し、様々な学年が交流しながら、楽しく体を動かす機会を設ける。 ・体育委員会が企画、進行する活動を行い、運動に親しむ機会を設ける。 ・体育の授業や集会、体育的行事の内容の充実に努め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。